

特 集

在宅 NPPV を知る

2004年の時点で在宅におけるNPPV（非侵襲的陽圧換気療法）利用者は1万5000人を数え、その後もますます増加しています。その理由として気管内挿管・気管切開による感染症のリスクやADLの低下が避けられ、QOLを維持させることができるというメリットが挙げられます。存在するデメリットはきめ細やかなケアで克服できるものです。看護師が鍵を握る在宅NPPV。その実際について明らかにします。